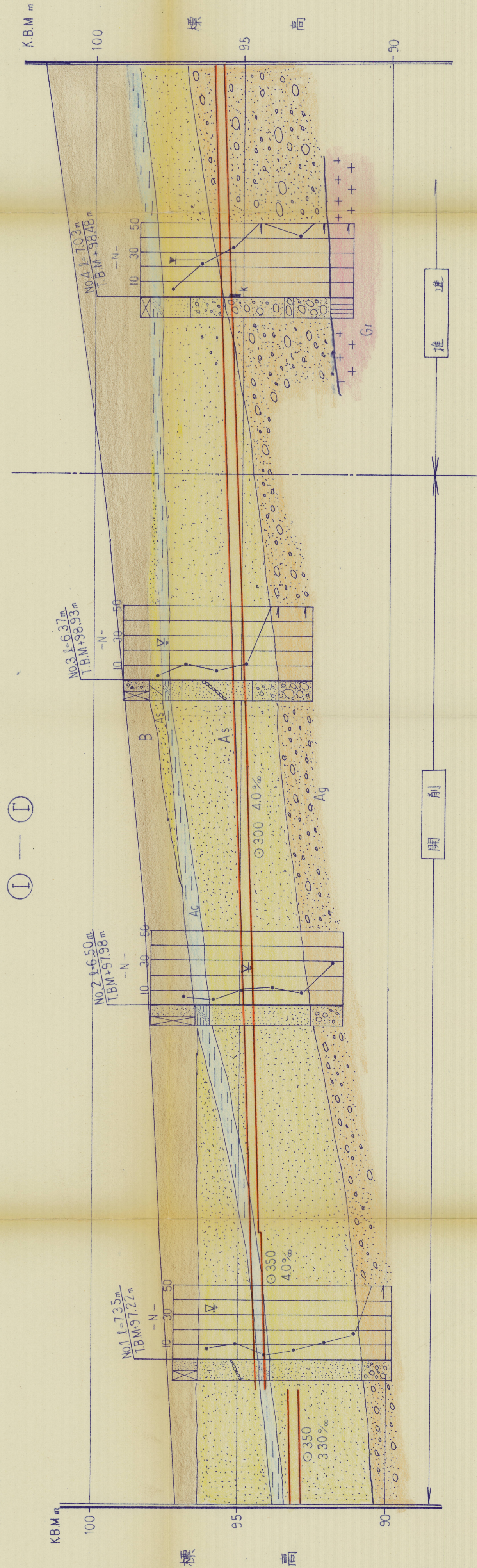
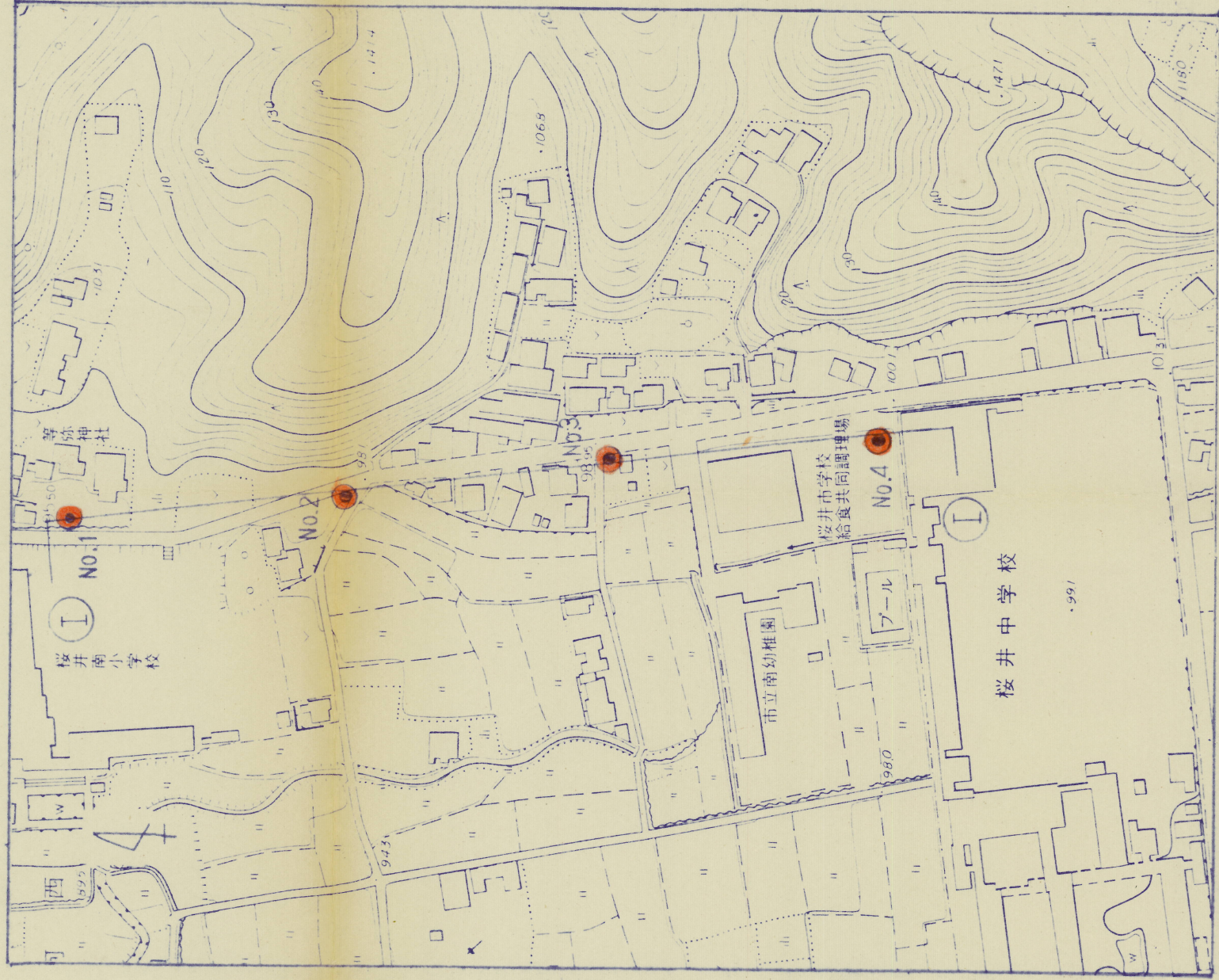


附図 地質断面図

H=1:1000
V=1:100



調査地点位置図 S=1:2500



地層名	土質名	記号	N値	記事
沖積層	粘土	B	—	感土材は粗砂を主体とする。全層に0.5~1.0mmの円礫混入する。
	表土	AS	4~18	全体として粗砂を主体とするが、下層に粘土質土を多く混入する。若干重層。
	砂質土	AC	3	厚さは0.4m程度だが、礫層は、礫の混入量が多い。50%以上の礫を混入し、不均質である。
	粘土	AG	N>19	厚さは0.5~0.8mの重層。礫は、礫の混入量が多い。50%以上の礫を混入し、不均質である。
	礫質土	AG	N>19	厚さは0.5~0.8mの重層。礫は、礫の混入量が多い。50%以上の礫を混入し、不均質である。
基盤岩	花崗岩	++	N=50	上層はやや固化したマフィア化している。

名称	桜井市公共下水道 河内新橋管渠築造工事に伴う土質調査		
図面番号	大59-174	縮尺	H=1:1000 V=1:100
製図年月日	昭和59年	月	日
応用地質調査事務所	大阪事務所		

440 X
1020